

Heb

Chapter 4

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

- 1 φοβηθῶμεν οὖν, μή ποτε καταλειπομένης, ἐπαγγελίας εἰσελθεῖν
恐れよう それゆえに ~しない-ように 決して 残っている-のに 約束が 入る
[G5399](#) [G3767](#) [G3361](#) [G4219](#) [G2641](#) [G1860](#) [G1525](#)
- εἰς τὴν κατάπαυσιν αὐτοῦ, δοκῆ τις ἐξ ὑμῶν ὑστερηκέαι.
~に その 安息に その方の 思われる 誰かが ~の-中から あなたがたの 遅れたと
[G1519](#) [G3588](#) [G2663](#) [G0846](#) [G1380](#) [G5100](#) [G1537](#) [G4771](#) [G5302](#)

それだから、神の安息にはいるべき約束が、まだ存続しているにかかわらず、万一にも、はいりそこなう者が、あなたがたの中から出ることがないように、注意しようではないか。

- 2 καὶ γὰρ ἐσμεν εὐηγγελισμένοι καθάπερ κἀκεῖνοι; ἀλλ' οὐκ ὠφέλησεν
また なぜなら である 福音を-聞いた ~のように 彼らも しかし ~ない 益が-なかった
[G2532](#) [G1063](#) [G1510](#) [G2097](#) [G2509](#) [G2548](#) [G0235](#) [G3756](#) [G5623](#)
- ὁ λόγος τῆς ἀκοῆς ἐκείνους, μὴ συγκεκρασμένους τῇ πίστει τοῖς
その 言葉は その 聞いた 彼らに ~ない 混ぜ合わされなかった その 信仰と その
[G3588](#) [G3056](#) [G3588](#) [G0189](#) [G1565](#) [G3361](#) [G4786](#) [G3588](#) [G4102](#) [G3588](#)
- ἀκούσασιν.
聞いた-者たちの
[G0191](#)

というのは、彼らと同じく、わたしたちにも福音が伝えられているのである。しかし、その聞いた御言は、彼らには無益であった。それが、聞いた者たちに、信仰によって結びつけられなかったからである。

- 3 Εἰσερχόμεθα γὰρ εἰς τὴν κατάπαυσιν, οἱ πιστεύσαντες; καθὼς
入る なぜなら ~に その 安息に その 信じた-者たちは ~のように
[G1525](#) [G1063](#) [G1519](#) [G3588](#) [G2663](#) [G3588](#) [G4100](#) [G2531](#)
- εἶρηκεν, Ὡς ὥμοσα ἐν τῇ ὀργῇ μου, εἰ εἰσελεύσονται
言った ~のように 誓った ~において その 怒りにおいて わたしの 決して 入らない
[G2046](#) [G5613](#) [G3660](#) [G1722](#) [G3588](#) [G3709](#) [G1473](#) [G1487](#) [G1525](#)
- εἰς τὴν κατάπαυσίν μου; καίτοι τῶν ἔργων ἀπὸ καταβολῆς κόσμου
~に その 安息に わたしの しかし その わざは ~から 創造の 世界の
[G1519](#) [G3588](#) [G2663](#) [G1473](#) [G2543](#) [G3588](#) [G2041](#) [G0575](#) [G2602](#) [G2889](#)
- γενηθέντων.
成っていた
[G1096](#)

ところが、わたしたち信じている者は、安息にはいることができる。それは、「わたしが怒って、彼らをわたしの安息に、はいらせることはしないと、誓ったように」と言われているとおりである。しかも、みわざは世の初めに、でき上がっていた。

4 εἶρηκεν γάρ που περὶ τῆς ἐβδόμης οὕτως, καὶ
 言った なぜなら どこかで ~について その 第七の-日について このように そして
[G2046](#) [G1063](#) [G4225](#) [G4012](#) [G3588](#) [G1442](#) [G3779](#) [G2532](#)

κατέπαυσεν ὁ Θεὸς ἐν τῇ ἡμέρᾳ τῇ ἐβδόμῃ, ἀπὸ πάντων τῶν
 休まれた その 神は ~において その 日に その 第七の ~から すべての その
[G2664](#) [G3588](#) [G2316](#) [G1722](#) [G3588](#) [G2250](#) [G3588](#) [G1442](#) [G0575](#) [G3956](#) [G3588](#)

ἔργων αὐτοῦ;
 わざから その方の
[G2041](#) [G0846](#)

すなわち、聖書のある箇所で、七日目のことについて、「神は、七日目にすべてのわざをやめて休まれた」と言われており、

5 καὶ ἐν τούτῳ πάλιν, εἰ εἰσελεύσονται εἰς τὴν κατάπαυσίν μου.
 また ~において ここで 再び 決して 入らない ~に その 安息に わたしの
[G2532](#) [G1722](#) [G3778](#) [G3825](#) [G1487](#) [G1525](#) [G1519](#) [G3588](#) [G2663](#) [G1473](#)

またここで、「彼らをわたしの安息に、はいらせることはしない」と言われている。

6 ἐπεὶ οὖν ἀπολείπεται τινὰς εἰσελθεῖν εἰς αὐτήν, καὶ οἱ
 それゆえに それゆえに 残っている ある-者たちが 入ることが ~に それに そして その
[G1893](#) [G3767](#) [G0620](#) [G5100](#) [G1525](#) [G1519](#) [G0846](#) [G2532](#) [G3588](#)

πρότερον εὐαγγελισθέντες, οὐκ εἰσῆλθον, δι' ἀπειθείαν,
 先に 福音を-聞いた-者たちは ~ない 入らなかった ~の-ゆえに 不従順の-ゆえに
[G4386](#) [G2097](#) [G3756](#) [G1525](#) [G1223](#) [G0543](#)

そこで、その安息にはいる機会が、人々になお残されているのであり、しかも、初めに福音を伝えられた人々は、不従順のゆえに、はいることをしなかったのであるから、

7 πάλιν τινὰ ὀρίζει ἡμέραν, Σήμερον, ἐν Δαυὶδ λέγων, μετὰ
 再び ある 定める 日を 今日と ~において ダビデを-通して 言って ~の-後に
[G3825](#) [G5100](#) [G3724](#) [G2250](#) [G4594](#) [G1722](#) [G1138](#) [G3004](#) [G3326](#)

τοσοῦτον χρόνον, καθὼς προεῖρηται, Σήμερον, ἐὰν τῆς φωνῆς
 これほどの 時の-後に ~のように 前に-言われたとおり 今日 もし その方の 声を
[G5118](#) [G5550](#) [G2531](#) [G4302](#) [G4594](#) [G1437](#) [G3588](#) [G5456](#)

αὐτοῦ ἀκούσητε, μὴ σκληρύνητε τὰς καρδίας ὑμῶν.
 その方の 聞けなら ~しては-ならない かたくなににしては その 心を あなたがたの
[G0846](#) [G0191](#) [G3361](#) [G4645](#) [G3588](#) [G2588](#) [G4771](#)

神は、あらためて、ある日を「きょう」として定め、長く時がたってから、先に引用したとおり、「きょう、み声を聞いたなら、あなたがたの心を、かたくなにしていけない」とダビデをとおして言われたのである。

8 εἰ γὰρ αὐτοὺς Ἰησοῦς κατέπαυσεν, οὐκ ἂν περὶ ἄλλης
 もし なぜなら 彼らに ヨシュアが 休みを-与えたなら ~ない ~ない ~について 別の
[G1487](#) [G1063](#) [G0846](#) [G2424](#) [G2664](#) [G3756](#) [G0302](#) [G4012](#) [G0243](#)

ἐλάλει, μετὰ ταῦτα ἡμέρας.
 語ったはずが-ない ~の-後に これらの-後に 日について
[G2980](#) [G3326](#) [G3778](#) [G2250](#)

もしヨシュアが彼らを休ませていたとすれば、神はあとになって、ほかの日のことについて語られたはずはない。

9 ἄρα ἀπολείπεται σαββατισμὸς, τῷ λαῷ τοῦ Θεοῦ.
 それゆえに 残っている 安息日の-休みが その 民に その 神の
[G0686](#) [G0620](#) [G4520](#) [G3588](#) [G2992](#) [G3588](#) [G2316](#)

こういうわけで、安息日の休みが、神の民のためにまだ残されているのである。

10 ὁ γὰρ εἰσελθὼν εἰς τὴν κατάπαυσιν αὐτοῦ, καὶ αὐτὸς
 その なぜなら 入った-者は ~に その 安息に その方の また その人も
[G3588](#) [G1063](#) [G1525](#) [G1519](#) [G3588](#) [G2663](#) [G0846](#) [G2532](#) [G0846](#)

κατέπαυσεν ἀπὸ τῶν ἔργων αὐτοῦ, ὡσπερ ἀπὸ τῶν ιδίων, ὁ
 休んだ ~から その わざから その人の ~のように ~から その 御自身の その
[G2664](#) [G0575](#) [G3588](#) [G2041](#) [G0846](#) [G5618](#) [G0575](#) [G3588](#) [G2398](#) [G3588](#)

Θεός,
 神が
[G2316](#)

なぜなら、神の安息にはいった者は、神がみわざをやめて休まれたように、自分もわざを休んだからである。

11 Σπουδάσωμεν οὖν εἰσελεθῆν εἰς ἐκείνην τὴν κατάπαυσιν, ἵνα
 努めよう それゆえに 入ることを ~に かの その 安息に ~しない-ために
[G4704](#) [G3767](#) [G1525](#) [G1519](#) [G1565](#) [G3588](#) [G2663](#) [G2443](#)

μὴ, ἐν τῷ αὐτῷ, τις ὑποδείγματι, πέση, τῆς ἀπειθείας.
 ~ないように ~に その 同じ 誰も 手本に-倒れないように 倒れないように その 不従順の
[G3361](#) [G1722](#) [G3588](#) [G0846](#) [G5100](#) [G5262](#) [G4098](#) [G3588](#) [G0543](#)

したがって、わたしたちは、この安息にはいるように努力しようではないか。そうでないと、同じような不従順の悪例にならって、落ちて行く者が出るかもしれない。

12 Ζῶν γὰρ ὁ λόγος τοῦ Θεοῦ, καὶ ἐνεργῆς, καὶ τομώτερος
 生きている なぜなら その 御言葉は その 神の また 力ある-もので また 鋭い
[G2198](#) [G1063](#) [G3588](#) [G3056](#) [G3588](#) [G2316](#) [G2532](#) [G1756](#) [G2532](#) [G5114](#)

ὑπὲρ πᾶσαν μάχαιραν δίστομον, καὶ διϊκνούμενος ἄχρι μερισμοῦ ψυχῆς
 ~よりも すべての 剣よりも 両刃の また 貫き通し ~まで 分ける-ほどこに 魂と
[G5228](#) [G3956](#) [G3162](#) [G1366](#) [G2532](#) [G1338](#) [G0891](#) [G3311](#) [G5590](#)

καὶ πνεύματος, ἄρμων τε καὶ μυελῶν; καὶ κριτικὸς ἐνθυμήσεων καὶ
 また 霊を 関節と また また 髓を また 見分ける 思いを また
[G2532](#) [G4151](#) [G0719](#) [G5037](#) [G2532](#) [G3452](#) [G2532](#) [G2924](#) [G1761](#) [G2532](#)

ἐννοιῶν καρδίας.
 考えを 心の
[G1771](#) [G2588](#)

というのは、神の言は生きていて、力があり、もろ刃のつるぎよりも鋭くて、精神と靈魂と、関節と骨髓とを切り離すまでに刺しとおして、心の思いと志とを見分けることができる。

13 καὶ οὐκ ἔστιν κτίσις ἀφανῆς ἐνώπιον αὐτοῦ; πάντα δὲ γυμνά
 また ~ない ない 被造物は 隠れた-ものは ~の-前に その方の すべては むしろ 裸であり
[G2532](#) [G3756](#) [G1510](#) [G2937](#) [G0852](#) [G1799](#) [G0846](#) [G3956](#) [G1161](#) [G1131](#)

καὶ τετραηλισμένα τοῖς ὀφθαλμοῖς αὐτοῦ πρὸς ὃν ἡμῖν ὁ
 また さらけ出されている その 目に その方の ~に-対して その方に 私たちは その
[G2532](#) [G5136](#) [G3588](#) [G3788](#) [G0846](#) [G4314](#) [G3739](#) [G1473](#) [G3588](#)

λόγος,
 弁明する
[G3056](#)

そして、神のみまえには、あらわでない被造物はひとつもなく、すべてのものは、神の目には裸であり、あらわにされているのである。この神に対して、わたしたちは言い開きをしなくてはならない。

14 Ἔχοντες οὖν ἀρχιερέα μέγαν, διεληλυθότα τοὺς οὐρανοὺς, Ἰησοῦν,
 持っている それゆえに 大祭司を 大いなる 通った その もろもろの-天を イエスを
[G2192](#) [G3767](#) [G0749](#) [G3173](#) [G1330](#) [G3588](#) [G3772](#) [G2424](#)
 τὸν Υἱὸν τοῦ Θεοῦ, κρατῶμεν τῆς ὁμολογίας.
 その 御子である その 神の 保とう その 告白を
[G3588](#) [G5207](#) [G3588](#) [G2316](#) [G2902](#) [G3588](#) [G3671](#)

さて、わたしたちには、もろもろの天をとおって行かれた大祭司なる神の子イエスがいますのであるから、わたしたちの告白する信仰をかたく守ろうではないか。

15 οὐ γὰρ ἔχομεν ἀρχιερέα μὴ δυνάμενον συμπαθεῖσαι
 ~ない なぜなら 持っているのでは-ない 大祭司を ~できない できない 同情することが
[G3756](#) [G1063](#) [G2192](#) [G0749](#) [G3361](#) [G1410](#) [G4834](#)
 ταῖς ἀσθενείαις ἡμῶν; πεπειρασμένον δὲ κατὰ πάντα καθ'
 その 弱さに 私たちの 試みられた しかし ~において すべてにおいて ~のように
[G3588](#) [G0769](#) [G1473](#) [G3985](#) [G1161](#) [G2596](#) [G3956](#) [G2596](#)
 ὁμοιότητα; χωρὶς ἁμαρτίας.
 同様に ~なしに 罪なしに
[G3665](#) [G5565](#) [G0266](#)

この大祭司は、わたしたちの弱さを思いやることのできないようなかたではない。罪は犯されなかったが、すべてのことについて、わたしたちと同じように試練に会われたのである。

16 προσερχώμεθα οὖν μετὰ παρρησίας τῷ θρόνῳ τῆς χάριτος,
 近づこう それゆえに ~を-もって 大胆さを-もって その 御座に その 恵みの
[G4334](#) [G3767](#) [G3326](#) [G3954](#) [G3588](#) [G2362](#) [G3588](#) [G5485](#)
 ἵνα λάβωμεν ἔλεος, καὶ χάριν εὐρωμεν, εἰς εὐκαιρον
 ~するために 受ける あわれみを また 恵みを 見いだす ~のために 時にかなった
[G2443](#) [G2983](#) [G1656](#) [G2532](#) [G5485](#) [G2147](#) [G1519](#) [G2121](#)
 βοήθειαν.
 助けの-ために
[G0996](#)

だから、わたしたちは、あわれみを受け、また、恵みにあずかって時機を得た助けを受けるために、はばかりことなく恵みの御座に近づこうではないか。